

WAAS:NAM統合のトラブルシューティング

章：NAM統合のトラブルシューティング

この記事では、WAAS Central ManagerへのNetwork Analysis Module(NAM)の統合をトラブルシューティングする方法について説明します。

ガ

主

WA

い

WA

最

ア

ユ

CIF

HT

EP

MA

NF

SS

ピ

汎

過

WC

Ap

デ

ニ

シ

ン

vW

WA

NA

内容

- [1 接続性の問題](#)
- [0 レンダリングの問題](#)
- [3 グラフデータの問題](#)

Cisco Network Analysis Module(NAM)は、ネットワークにNAMサーバがインストールされている場合に、WAAS Central Managerからアクセスできるスタンドアロンネットワーク分析製品です。この記事では、NAMがWAAS Central Managerに統合された場合のトラブルシューティング方法について説明します。

注：WAAS Central ManagerへのNAM統合のサポートは、WAASバージョン4.4.1で導入されました。このセクションは、以前のWAASバージョンには適用されません。

接続性の問題

WAAS Central ManagerからNAMに接続できない場合は、次の手順を実行します。

- Central Manager GUIで、[Configure] > [Network Analysis Module (Beta)] > [Basics] > [Setup]の順に選択し、NAMサーバのアドレスとクレデンシャルが正しく入力されていることを確認して、[Test Connectivity/Credentials]をクリックします。アドレス、ユーザ、およびパスワードのすべてのフィールドに、成功を示す緑色のチェックマークが表示されます。赤色のXを示すフィールドは、正しく設定されていません。
- NAM HTTPまたはHTTPSサーバが有効になっていることを確認します。
- NAMサーバのIPアドレスとポートが、Central Managerと、ブラウザを実行してCentral Managerにアクセスしているクライアントコンピュータから到達可能であることを確認します。NATが関与しているかどうかに関係なく、両方のマシンから同じIPアドレスとポートを使用してNAMサーバにアクセスできる必要があります。
- ブラウザの設定を確認します。Internet Explorerでは、[ツール] > [インターネットオプション]の[セキュリティ]タブと[プライバシー]タブのデフォルト設定に戻し、[プライバシー]設定を[低]に変更する必要がある場合があります。
- NAM HTTPSサーバを使用している場合、NAM自己署名証明書がブラウザにインストールされていない可能性があります。NAM自己署名証明書をブラウザに手動で追加します。別のブラウザタブまたはウィンドウでNAMユーザインターフェイスを起動し、証明書を受け入れてインストールすることもできます。これにより、統合されたグラフを表示できます。

NAMサーバに直接telnetできない場合は、NAMコンソールでexsession onコマンドを使用します

レンダリングの問題

NAMページが正しく表示されない場合、またはNAMの一部のアクションボタンが機能しない場合は、ブラウザのバージョンに互換性がないことが原因である可能性があります。NAMサーバには、次のブラウザ要件があります。

- Internet Explorer 8以降、またはFirefox 3.6以降
- Java version 6 update 22以降
- Adobe Flash 10.0.45.2以降 (Adobeから最新バージョンをインストール)
- JavaScriptを有効にする必要があります

NAMレポートをクリックしたときに「Navigation to the web page was cancelled」というメッセージが表示されたら、Central Managerからログアウトして再度ログインします。セキュアに配信されたコンテンツだけを表示するかどうかをブラウザから確認されたら、[いいえ]をクリックしてすべてのコンテンツを表示します。Central ManagerデータはHTTPSに基づいており、NAMアクセスはデフォルトでHTTPを使用するため、ブラウザはセキュア(HTTPS)コンテンツと非セキュア(HTTP)コンテンツの両方を表示できる必要があります。

グラフデータの問題

グラフに予期しない結果が表示される

グラフに予期しない結果が表示された場合、クロック同期の欠如が原因である可能性があります。ブラウザを実行しているクライアントマシンのクロックが同期されていない場合、ページに次のエラーが表示されることがあります。クライアントまたはNAMの時刻が正しくない。ブラウザ、NAMサーバ、およびWAAS Central Managerを実行しているクライアントマシンのクロックが同期していることを確認します。これを行う1つの方法は、3つのマシンすべてにNTPサーバを設定することです。

Transaction Time Over Timeチャートにジグザグのパターンを表示

このチャートパターンは、通常、WAASネットワークを通過するフローが1つしかないPOCシナリオで一般的です。応答時間メトリックのデフォルトの精度は5分です。フローの継続時間が5分を超えて10分未満の場合、ループ内で連続して行われると、FAフローが終了した後でのみWAEからNAMに報告されるため、ジグザグのパターンが発生します。

スループット>ネットワークチャートに異常なルータインターフェイス名が表示される

ルータインターフェイスは、GigaE 0/0、Tunnel0などの実際のインターフェイス名ではなく、if2、if15のように表示されます。正しいルータインターフェイス名を表示するには、SNMPクレデンシャル/コミュニティストリングを使用してnetflowデータソースを設定します。Central Manager GUIで、[Configure] > [Network Analysis Module (Beta)] > [Advanced] > [Data Sources]を選択します。Netflowデータソースを選択して編集し、SNMPクレデンシャル/コミュニティストリングを指定します。

グラフのボリュームが予想より大きい

ダブルカウントが原因で、グラフのボリュームが予想より大きくなる場合があります。ダブルカウントを避けるために、特定のデータソースにフィルタを適用します。

NAMにデータソースが表示されない

データソースがNAMに表示されない場合は、ネットワークまたはファイアウォールの問題が原因である可能性があります。NetflowがUDPポート3000で、フローモニタがTCPポート7878で有効になっており、ファイアウォールでブロックされていないことを確認します。

フローエージェント接続の問題が継続

フローエージェント接続の問題が解決しない場合は、WAEのフローモニタを無効にし、NAMを再起動して、WAEのフローモニタを再度有効にします。フローモニタの設定は、Central Manager GUIの[Configure] > [Monitoring] > [Flow Monitor]ページで制御できます。

上位トーカーのデータ不一致

次の2つのレポートでトラフィックをカウントする方法の違いにより、Top Talkers DetailとTop N Applications in Top Talkers Summaryのバイト数に不一致が見られる場合があります。

- Top Talkers Detailはペイロードバイトのみをカウントします
- トップトーカーの概要では、パケットヘッダーとペイロードバイトがカウントされます

上位アプリケーションまたはアプリケーションのスループット図で予想を上回るスループット

同じルータ上のLANインターフェイスとWANインターフェイスの両方でnetflowが有効になっている場合、Netflowデータソースを選択すると、[Throughput] > [Top applications]および[Application]のチャートに集約スループットが表示されます。これは、LANとWANのものの合計です。正確なスループットデータを得るには、データソースをWAASフローエージェント、PAに変更するか、結果をWANインターフェイスのみに制限するようにnetflowエクスポートを変更します。

[Performance Analysis] > [Application]ページにパススルーデータが表示されない

WAASデータソースに、選択した正しいセグメントが設定されていることを確認します。推奨される設定は、ブランチWAEにクライアントおよびパススルーセグメントを設定し、サーバ側WAEにサーバWANおよびサーバセグメントを設定することです。

異なるデータソースが選択されている場合の統計情報に違いがあるのはなぜですか。

netflowデータソースはnetflowエクスポートデバイス（ルータ/スイッチ）を介してデータを反映し、FAデータソースはWAASによって代行受信されたデータを反映します。